

| | |
|-------------|--|
| 研究課題名 | 組織学的に診断されたアルコール性でない脂肪肝炎 (non-ASH steatohepatitis) の registry 研究 |
| 研究責任者名 | 広島大学大学院医歯薬保健学研究科 消化器・代謝内科学 教授 茶山一彰 |
| 研究期間 | 2019年1月8日(倫理委員会承認後)～2033年3月31日 |
| 対象者 | 1990年1月から2022年3月の間に、広島大学病院 消化器・代謝内科で肝生検を受けられた非ウイルス性慢性肝疾患の患者。 |
| 意義・目的 | 慢性肝疾患や肝がんのうち、肝炎ウイルスが原因ではない疾患が増加しており、非B非C慢性肝疾患・非B非C肝がんと呼ばれています。これらの疾患は、アルコールの他に、肥満や生活習慣病などが原因とされる脂肪肝炎と関連があると考えられていますが、正確なことは、まだ解明されていません。今回、アルコール性ではない脂肪肝炎を多くの病院で登録し、脂肪肝炎と慢性肝疾患・肝がんとの関連を明らかにするため、この研究を計画しました。 |
| 方法 | 本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は身長、体重、性別、血液検査（肝機能、腎機能、糖代謝、肝線維化マーカー、腫瘍マーカー、肝炎ウイルスマーカー）、アルコール摂取量、服薬内容、生活習慣病の有無、腹部エコー検査結果、肝生検病理組織検査結果です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません） |
| 共同研究機関 | 東京大学医学部附属病院、大阪府済生会吹田病院、大阪府済生会吹田医療福祉センター、東京女子医科大学、久留米大学医学部、虎ノ門病院、愛知医科大学病院、京都府立医科大学、佐賀大学医学部附属病院、慶應義塾大学医学部 東京大学医学部附属病院に情報を集め東京大学（研究責任者 小池和彦）が解析します。 |
| 試料・情報の管理責任者 | 東京大学医学部附属病院 消化器内科 教授 小池和彦 |
| 個人情報の保護について | 調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。ただし、モニタリングのためプライバシーが保護されることを条件に、研究者から業務委託された者が、あなた個人を特定できる形で診療情報を閲覧することがあります。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。 |
| 問合せ・苦情等の窓口 | 〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel: 082-257-5191 広島大学病院 消化器・代謝内科 臨床講師 村上英介 |

研究機関：広島大学